

コープ農園水田コース 田植え



4月28日(土)、株式会社ぶった農産のご協力を得て、コープ農園水田コースの田植え体験を開催し、約120名の親子が参加しました。コープ農園は、組合員家族が生産者と一緒に植え付けから収穫までの農作業を体験することで地元の食や農に触れる食育の取り組みです。「田植え体験」では、初めて田んぼに入った子どもたちが泥の温度を実感したり田んぼの生き物と触れ合う貴重な体験となりました。コープ農園水田コースでは、6月に「草とり」をし、秋には「稲刈り」をします。



食の安全・安心ヨラム

生協の「産直」



コープファミリーには左記のマークがついた野菜や果物、お肉がたくさん並んでいます。一般的に産直とは「産地直送」を略した言葉として使われますが、生協では「産地直結」を産直と呼んでいます。この産直マークがついた商品には、栽培方法が明確であることや生産者と消費者との信頼関係があることなどの条件があります。

産地と消費者をつなぐ「産直」

生協では、食の安全性の向上や日本の農・水・畜産業の振興などを目指し、生産者・組合員とともに「生産」と「消費」についての知識と理解を広げる「産直」に取り組んでいます。

生協の産直農産物の栽培基準には、「発ガン性や強い毒性の認められる農薬」「栽培管理上必ずしも必要でない農薬」の使用を制限する「制限農薬リスト」を設けています。

また、下記の産直3原則に伴い、食の安全の追求や提携先との交流をおこなっています。



産直3原則

1. 生産者や産地が明確なこと。
2. 栽培方法(肥料の種類や農薬の種類・使用など)や肥育方法が明確であること。
3. 生産者と組合員の日常的な交流があり、信頼関係があること。

5つの提携基準

- ・ 組合員との交流活動が実施できること
- ・ 栽培～流通過程がトレーサビリティできること
- ・ 相互のパートナーシップの形成とコミュニケーションができること
- ・ 環境負荷低減のとりくみをすすめていること
- ・ 生産・出荷段階での栽培技術や品質管理面で問題がないこと

生産者と組合員の交流



商品学習会



コープマルシェ 2017 南加賀



サタデーとうもろこし